

SAJ

サバァイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバァイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.27

2020.11 月号

ふれあいサポートプラン お米支援の拡大



コロナウイルスの影響で、カンボジアでも失業者が多く増えています。現在、ふれあいサポートプラン・お米支援をしている学校はSAJが建設した28校、約1000人の子どもたちを対象にしていますが、SAJと関りがない学校からも支援をしてほしいという話も多くあります。特にコンポンチュナン州、ポーサット州ではコロナウイルスの影響で生活がままならなくなってしまった家庭が多いという報告がありました。SAJでは需要の高いふれあいサポートプラン・お米支援を約1,000人分拡大する予定

です。今まで行ってきた調査の基準を変えずに支援する子どもたちを増やしていきます。SAJでは命にかかわる食糧を優先に支援をしていきますが、マスク(繰り返し使えるもの)や体温計(非接触赤外線)石鹸等、衛生面での支援が必要だという声も多くあります。このような状況ですが、皆様のお気持ちをしっかりとカンボジアへ届けていきたいと思っています。今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

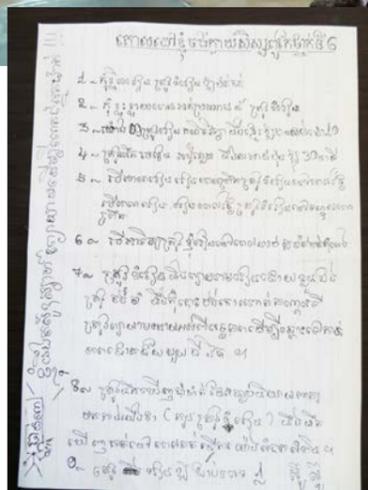
支援活動のご報告 (指定寄附別)

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

孤児院運営支援

夢講議 第1回 8月27日、第2回 9月3日 開催

青木業務執行理事による夢講議が開催されました。「幸せとは何か」というテーマで講義をしていただきました。夢を持ち夢を追い叶えることの大切さ、自分の夢をカラーでイメージすること、夢の実現のために今やるべきことを割り出す逆算思考の考え方をイチロー選手の小学生の卒業作文を例に説明していただきました。子どもの目線で興味を惹くように話して頂きとても充実した時間になりました。早速、イチロー選手の作文を真似して自分のやるべきことを書いてきた子どももいて、子どもたちのやる気が見えるようになりました。



夢講議で書かれた作文

9/16～18クメール盆

コロナウイルスの影響でお寺に行くことが出来ないため、9月18日の夕方にお坊さんを2名呼んでお経を唱えていただきました。偶然にもパンニャーとロアッタナーのお兄さんが孤児院でお経を唱えてくれ、久々に会うことができた3人はとても嬉しそうにしていました。お経を唱えているときの子どもたちの様子からカンボジア人の宗教の信仰の深さを改めて感じました。その後、職員が前日から準備して作ってくれた伝統的なお菓子「ちまき」を全員で食べました。



ちまき

～学校の状況～

- **小学校** (全学年) 9月7日より授業再開
週2回午前と午後に分かれて登校しています。登校日は学年によって異なります。
- **中学校** 中学3年生のみ9月7日より授業再開
毎日、午前と午後に分かれて登校します。中学1～2年生は休校です。(再開予定：未定)
- **高校** 高校3年生のみ9月7日より授業再開
毎日、午前と午後に分かれて登校します。高校1～2年生は休校です。(再開予定：未定)

卒業試験 中学校 11月30日 高校 12月21日・22日

学校建設寄附

学校建設調査再開

本来は事務局長が学校調査を行うのですが、コロナウイルスの影響でカンボジアへ行けないため、プノンペン事務所のユット所長が現地へ行き、学校調査を行います。学校調査リストを渡し、普段と変わらない基準で調査を行えるようにしています。今後はZOOM等を用いてユット所長とオンライン学校調査をしていこうと考えています。

現在、1,2回目の調査が終了している学校が13校あり、20校ほど新たに追加調査を行い、建設をする学校を検討していく予定です。2020年度はカンボジアで需要の高い幼稚園・小学校(1～2教室)を中心に建設し、事業計画に基づき20棟の建設を実現させる予定です。

SAJ Farm Letter



有機 JAS 認証

SAJ Farmでは2015年より、毎年日本の有機JAS認証を8.5haの圃場で取得しています。年に一度、日本の検査員の方にカンボジアに来ていただき実地検査をしていただきます。日本の専門家の方に現場を見ていただき、色々とアドバイスを頂けることは我々にとってとても貴重な機会でもありました。

しかし、今年はCOVID-19の影響で日本ーカンボジア間の入国規制も厳しく、遠隔(リモート)での検査になりました。10月の実施を予定しています。このような状況で大変ではありますが、引き続きしっかりと圃場管理し、SAJ Farmではオーガニックレモングラスを栽培していきます。(農場長 酒井)



(左) 有機 JAS の認定書
(上) レモングラス有機認証シール



※今年のリモート検査のため、写真・画像は、昨年のものであります。

※SAJファームは、孤児院の子どもや、将来的には農業を志すカンボジアの若者に技術を習得させるための実習場(農場)として、2010年にスタートさせた就労支援事業です。

プノンペン事務所からの報告

退職：ロン・ヴィラー (25才)

王立法律経済大学で国際学科在学中にプノンペン事務所でアルバイトをしていたヴィラーは、8月末にプノンペン事務所を退社し、日本のISSHIN Co, Ltd. (保険会社)に就職しました。日本語がとても上手でSAJで通訳やお米支援等様々な活躍してくれました。



退職：アン・トゥオン (17才)

中学卒業と同時に孤児院を卒業し、SAJプノンペン事務所に就職しました。9月末にSAJを退社し、カンダール州の養鶏場に就職が決まりました。プノンペン事務所での経験を活かし今後の活躍を願っています。将来の夢のために頑張りたいと思います。



理事評議員会の報告

SAJは、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

〈構成メンバー〉

- 代表理事：渡邊美樹
- 理事：鳥井親一、清水和雄、武長彩子、高橋亮
- 業務執行理事：青木茂雄
- 評議員：大江光正、清水邦晃、佐藤誠、戸澤昌夫、大城慶正、白柳直美
- 監事：片山進平、清野貴彦

第209回理事評議員会が2020年10月27日に開催となりました。

〔決議事項〕

- 議案1：2020年度裕福度調査の結果に関する検討と承認
 - 議案2：ARS進学の保証人となる規定に関する検討と承認
 - 議案3：奨学金継続に関する検討と承認
- 佐藤事務局長より説明がなされ、全員異議なく承認した。

〔報告事項〕

- 報告1：孤児院報告 近況報告
 - 報告2：プノンペン事務所報告
 - 報告3：バングラデシュ報告
 - 報告4：SAJ Farm 及び石炭事業報告
 - 報告5：会計報告
- 以上につき、佐藤事務局長、青木業務執行理事より説明がなされこれを了承した。

今後の予定

11月24日…理事評議員会

12月21日…理事評議員会

2021年1月25日…理事評議員会

SAJはカンボジアで、①学校建設、②就学支援(ふれあいサポートプラン、DVD事業)、③食糧支援(朝給食、お米支援)、④孤児院運営、⑤就労支援(農場運営)、⑥収益事業(農産物・加工品販売)など、多岐にわたる活動をしております。学校建設はSAJの一丁目一番地の活動であり、年二回のSAJツアーで必ず視察する孤児院やファームは支援者の皆様にも馴染みのある活動です。

一方で、支援者の皆様にはあまり馴染みのない事業であるお米支援事業は、貧しくて子どもを通学させずに働かせている家庭に対して、子どもを通学させるこ

とを条件に毎月10kgのお米を配布する事業です。毎月、お米を渡した時の子どもたちの弾けるような笑顔と「ありがとう」という言葉に、SAJプノンペン事務所のユットもソンポアも大きな感動とやりがいを感じています。

カンボジアではコロナ禍で失業し、経済的に追い込まれている世帯が増えています。各学校長や村長に調査を依頼したところ、コロナで失業した世帯に対する新たなお米支援のニーズが544世帯ありました。従来からの1,004世帯に加えて、この544世帯に対しても速やかにお米支援を開始しました。

コロナによって生じる新たな支援ニーズに対して、SAJとしても臨機応変かつ迅速に対応してまいります。



寄附募集

カンボジアではコロナの影響で以下の物資が必要になっております。孤児院の子どもたちやふれあいサポートプランで支援している学校にお渡しします。

・大人用マスク 目標5,000枚

・子ども用マスク 目標2,000枚

・体温計(非接触赤外線のみ) 目標100個

*マスクは耳が痛くならない洗えるものがが必要です。*ご不明点等ございましたらSAJ本部へお問い合わせください。

みなさまのご協力
お願いいたします。



ご支援いただいた寄附

2020年

9月の寄附金合計 9507,361円

(内訳) 会員会費	1,648,800円
一般寄附	557,188円
指定寄附	7,301,373円

募金箱回収ありがとうございました

2020年9月募金箱回収

- ラーメン和屋
- SFPホールディングス(株)
- 磯丸水産・いち五郎 聖蹟桜ヶ丘東口駅前店
- 磯丸水産 有楽町日比谷店

- ワタミ(株)
- ふじのくに酒場 轟屋本店
- 「ミライザカ」鳥丸三条店、二俣川北口店、中目黒店、西船橋北口店、京阪京橋駅前店
- 「鳥メロ」名駅4丁目店、松山大街道店、麴町7丁目通り店、五香西口駅前店、国領駅前店
- 「和民」宮崎台店

募金箱回収してくださった方(順不同、敬称略) ※法人名、団体名は2020年4月現在のものです。募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。



これまでの実績

いただいた寄附金の累計額
(2001年度～2019年度)



30億
8,223万5,392円

現在、SAJの建設した
学校で授業を
受けている児童・生徒の人数
(2020年3月現在)



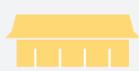
96,705人

SAJの建設した学校で
お米を受け取った
児童数の累計
(2006年度～2019年度)



10,527人

建設した学校の合計
(2001年度～2019年度)



308校

ふれあいサポートプランで
文房具や制服を受け取った
児童数の累計
(2003年度～2019年度)



14,494人

SAJの建設した学校で
朝給食を支給された
児童数の累計
(2006年度～2019年度)



117,132人

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費(年額)1口 12,000円
法人会費(年額)1口 120,000円

一般寄附

用途は指定しないで
金額も自由な寄附

指定寄附 (使い道を指定する寄附)

- 学校建設寄附(1) 一口寄附(一口100,000円)、(2) 一棟寄附
- 食の支援寄附(金額自由)
- 孤児院運営寄附(金額自由)
- 孤児院里親会費(12,000円/月)
- 奨学金寄附(金額自由)
- ふれあいサポートプラン(一口12,000円から)
- 孤児院運営会費(12,000円/月)
- 学校運営寄附(パングラデシュ)(金額自由)

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

インターネットでの寄附が、
便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただく
ことができます。寄附の種類も選べます。

<https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



会費・寄附金のお振込み

- 郵便局: 00140-5-345903
- 三井住友銀行: 蒲田支店(普) 4353626 口座名: 公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。